

# 文京区アカデミー推進計画

## 概要版

区内まるごとキャンパスに

ふみ みやこ

— 「文の京」、豊かな学びと交流を楽しむまち —

平成23年3月

文京区

## 1 計画策定の背景と目的

### (1) 計画策定の背景

本区では、平成4年3月に、文京区生涯学習推進基本構想を策定し、生涯学習の推進に必要な施策を講じてきました。また、平成17年11月には、「文京アカデミー構想」を策定し、区民との協働・協治により、最先端の生涯学習と新たな文化・芸術を幅広く展開することを目指したネットワークを構築し、区独自の資格制度の創設などの事業を実施しました。そして、平成22年度に策定の「文京区基本構想」分野別の将来像を踏まえながら、これまでに進めてきた「文京区生涯学習推進基本構想」や「文京アカデミー構想」等の基本的な考え方を継承するとともに、社会状況の変化等に対応した施策の展開を図り一本化して引き継ぐため、新たに「文京区アカデミー推進計画」（以下「アカデミー推進計画」という。）を策定することとしました。

### (2) 計画策定の目的

区民や来訪者などが、学びや出会い、交流などの観点から区内で豊かな時間を過ごし、潤いのある生活を送ることができるようにすることが、アカデミー推進計画の目的です。この目的を生生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流の各分野から実現していきます。

### (3) 各分野の連携

本計画を構成する生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流5つの分野について、本計画では、単一的に各分野の事業を展開するだけでなく、有機的な連携により互いに補完し合い、高め合い、横断的な広い観点から事業の展開を図ることを目指しています。

## 2 計画の位置付け

- 本計画は、「文京区基本構想」の基本理念に基づき、将来都市像である「歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」を、5つの分野の側面から実現するための計画です。
- 各部局で実施される関連事業等については、全庁的に調和を図っていきます。
- 本計画は、スポーツ振興法に基づく本区のスポーツ振興基本計画に代わる計画です。

## 3 計画の期間

計画の期間は、平成23年度から27年度までの5年間とします。

## 4 計画の検討体制

### (1) 計画検討体制

学識経験者や公募区民、団体関係者、区職員からなるアカデミー推進計画策定協議会において、計画策定を進めました。また、これらのメンバーは5つの分科会に所属し、分野別計画についての検討を行いました。

## (2) 文京区アカデミー推進計画基礎調査の実施

区民の日ごろの学習や趣味・スポーツ・文化芸術活動・観光・国際交流に関する実態やニーズなどを把握するため、平成22年1月に20歳以上の区民2,000名を対象として「文京区アカデミー推進計画基礎調査」を実施し、『文京区アカデミー推進計画基礎調査報告書』をまとめました。

## I 総論

## 第2章 計画の考え方

### 1 計画の基本理念

区内まるごとキャンパスに  
— 「文<sup>ふみ</sup>の京<sup>みやこ</sup>」、豊かな学びと交流を楽しむまち —

### 2 計画の3つの基本目標

#### 目標1 豊かな時間を過ごせる環境づくり

一人ひとりが、さまざまなことを「みて」「きいて」「体験して」豊かな時間を過ごすことのできる環境づくりに努めていきます。

#### 目標2 交流を通じた新たなコミュニティの創造

新しい人とのつながり、多様な交流を通じた新たなコミュニティの創造を目指します。

#### 目標3 多彩な連携によるネットワークづくり

区民や来訪者が、本区でさまざまな経験を重ね興味や関心を深めたり、充実した時間を過ごせたりすることができるネットワークづくりを進めます。

### 3 計画の5つの行動

#### 行動1 区の魅力を体感できる多様な機会を「つくる」

各種団体、施設、文化財、風景等の多様な資源を活用し、区民や来訪者が区内で充実した時間を過ごせる機会をつくります。

#### 行動2 さまざまな媒体を活用し、情報を分かりやすく「伝える」

情報を分かりやすく提供する工夫をします。また、幅広く相談に応じる体制を整え、情報を必要としている人へ確実に伝えます。

#### 行動3 個人や団体の主体的な活動を「つなぐ」

交流や連携の仕組みを整備し、個人や団体の活動をつないでいきます。

#### 行動4 豊富な知識や経験をもつ人材を「活かす」

地域には多種多様な「力」を有する方々があります。その成果を地域へ還元できるように、そうした方々の「力」を活かします。

#### 行動5 計画を推進する多彩な主体と「協働する」

個人や団体がさまざまな活動を主体的に担っていけるよう支援します。そして、計画の推進を全ての人で進めていくため、区民や大学、事業者や各種団体などと連携・協働していきます。

## 4 計画の体系

アカデミー推進計画を進めていくために、5分野からなる計画体系によって実施していきます。

分野	分野別の目標	基本的な方向
1 生涯学習	1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
		(2) 学習や活動ができる環境の提供
		(3) だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり
		(4) さまざまな学習活動を支援する区立図書館づくり
	2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実	(1) 学習情報の収集・整理
		(2) 分かりやすい情報提供
		(3) 相談体制の整備・充実
		(4) 地域における情報拠点となる区立図書館づくり
	3 区民・団体の主体的な活動の支援	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
(2) 活動成果披露の場の充実		
(3) 人材育成の推進		
(4) 人材活用の推進		

分野	分野別の目標	基本的な方向
2 スポーツ	1 スポーツのきっかけづくり	(1) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
		(2) スポーツへ参加する機会の提供
	2 スポーツを楽しむ環境づくり	(1) スポーツ施設の整備・充実
		(2) 既存施設等の利活用
		(3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供
		(4) スポーツを通じた地域交流の活性化
	3 スポーツ観戦の魅力向上	(1) プロスポーツ等団体との連携・協力
		(2) スポーツ観戦機会の拡充
	4 スポーツ指導者の育成	(1) スポーツ指導者等の育成と確保
		(2) スポーツ指導者の技術等の強化

分野	分野別の目標	基本的な方向
3 文化芸術	1 だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実	(1) 鑑賞の機会と場所の提供・充実
		(2) 参加・創造・成果披露の機会と場所の提供・充実
		(3) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実
		(4) だれもが鑑賞・参加しやすい仕組みづくり
	2 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実	(1) 文化芸術関連の情報収集・整理
		(2) 分かりやすい情報提供と幅広い情報発信
		(3) 相談体制の整備・充実
	3 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり	(1) “楽しむ人”づくりの推進
		(2) “活動する人・団体”への支援
		(3) “伝える人”の育成と発掘の推進
		(4) 人材活用の推進
		(5) 文化的な資源の発掘と保存の推進

分野	分野別の目標	基本的な方向
4 観光	1 まちあるきを中心とした資源の発掘・活用・創出	(1) 文の京の誇りとなるまちなかの魅力発掘と磨き上げ
		(2) 文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり
		(3) 「学び」の要素と連携した文の京ならではの新しい魅力づくり
		(4) まちあるきを誘発する「文京ブランド」の構築
	2 まちあるきや交流のための環境づくり	(1) 安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進
		(2) 区内の回遊性を向上させる誘導の仕組みづくり
		(3) 区民や来訪者の交流充実に向けた環境づくり
		(4) 文の京の魅力を活かすイベントの推進
		(5) MICEの誘致（アフターコンベンションの充実と誘致）
		(6) 区民生活に配慮したまちあるきの仕組みづくり
	3 観光まちづくりのための情報発信	(1) 「文京区」の知名度向上へ向けた情報発信の強化
		(2) ターゲットを明確にした効果的な情報発信の推進
(3) メディアの有効活用による「文京区」の積極的なPR		
(4) 情報通信技術を活用した情報発信の推進		
4 観光まちづくりのための人材育成と体制づくり	(1) 文の京の魅力を伝える人材等の育成	
	(2) 観光まちづくりに携わる団体・人材の発掘と活用	
	(3) 文の京全体としてのホスピタリティの醸成	
	(4) さまざまな主体が連携して取り組む体制づくり	
分野	分野別の目標	基本的な方向
5 国際交流	1 国際理解を進める機会づくり	(1) 国際理解の推進
		(2) 多様な文化を学べる機会の充実
	2 国際交流を進める機会づくり	(1) 交流の機会の拡充
		(2) 交流を支える人材の育成及び支援
		(3) 交流拠点の充実
		(4) 姉妹都市等、海外都市との交流の活性化
	3 外国人が快適に暮らせる環境づくり	(1) 外国人の暮らしの支援
		(2) 地域活動への参加促進

## 1 区民等との連携

アカデミー推進計画を進めていくため、区民、地域活動団体、NPO（非営利活動団体）、大学、事業者など新たな公共\*の担い手と区が互いの役割分担を認識して力を合わせ、「文の京」自治基本条例で自治の理念として掲げている「協働・協治」の考えに基づき、連携していきます。

## 2 計画の推進体制

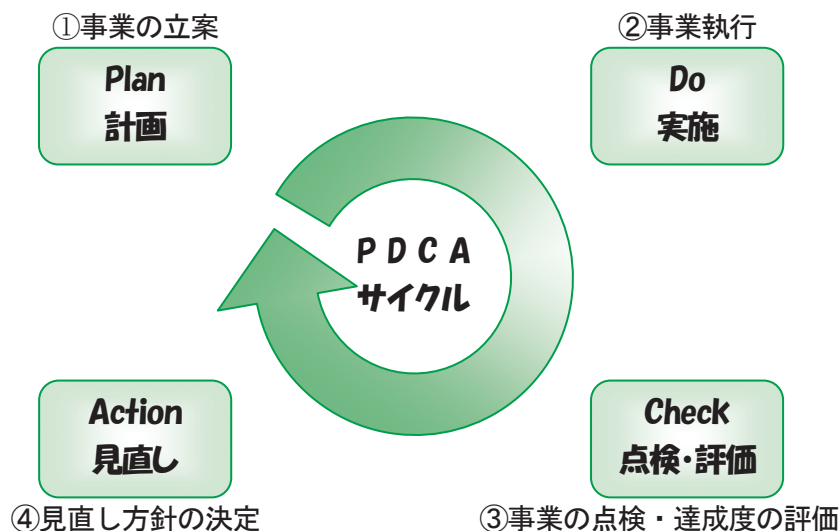
アカデミー推進計画は、区と区民等が共に「連携・協働」に基づき推進をするため、その根幹にある体制の整備と充実が必要です。今後、アカデミー推進部で所管する専門会議体を再編・統合し、新設する「(仮称)文京区アカデミー推進協議会」で、本計画の進行状況の管理及び実施状況の点検・評価を行い、計画の実効性を高めていきます。

また、各種事業に取り組む区内組織の「文京アカデミー推進本部」では、関連する各部局との連携・協力を充実させ、本計画に定めた各種活動の活性化のための施策・事業を総合的に推進していきます。さらに、計画の進捗状況を集約し、調整をするとともに、「(仮称)文京区アカデミー推進協議会」などからの意見や提案を踏まえて、計画の推進に必要な事項の決定を行います。

このような体制の整備を行い、多方面からの幅広い意見・要望の把握、関係機関との連絡調整等をもとに、従来にも増して連携・協働を進め本計画の着実な推進に努めていきます。

## 3 計画の進行管理

アカデミー推進計画を総合的かつ効果的に実施していくためには、事業の点検・評価を行い、見直しをすることでさらなる展開に反映させていくことが求められます。そのため、「Plan（計画）⇒Do（実施）⇒Check（点検・評価）⇒Action（見直し）」のPDCAサイクルに基づく進行管理を、「(仮称)文京区アカデミー推進協議会」で毎年行い、計画全体の実効性を確保していきます。



\*新たな公共: これまで地方自治体が提供主体と認識されてきた公共的サービスについて、地方自治体だけでなく、区民、地域活動団体、NPO（非営利活動団体）、事業者など地域のさまざまな主体が担うことをいう。

## II 各論

## 第1章 生涯学習

## 1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実

## (1) 多様な講座や学習機会の提供・充実

- ・ 教養的な講座から実学的な講座まで、バラエティに富んだ講座を用意します。
- ・ 行政、指定管理者、大学、区民、事業者などが役割を分担し、連携・協働しながら多様な講座の開催を進めていきます。
- ・ 各大学の特色や得意とする分野を活かした講座を目指します。
- ・ 近隣区と生涯学習に係るソフト、ハードを相互利用する連携事業を検討していきます。
- ・ 区民に生涯学習の魅力を伝えるとともに、生涯学習活動への参加を促す機会を設けます。

## 【事業例】

- 「文京地域学」講座の企画・実施
- 文京アカデミア講座\*<sup>2</sup>の充実
- 生涯学習一日体験フェアの開催
- 大学キャンパス講座等の実施

## (2) 学習や活動ができる環境の提供

- ・ 区有施設を中心に、学習や活動ができる場所の充実を図るとともに、大学や民間施設の開放を引き続き要請していきます。
- ・ 今後、改築する生涯学習施設については、学習の場として、より一層利用しやすい施設にしていきます。
- ・ 学習に必要な場所の充実のほか、学習機材の提供においても充実を図っていきます。

## 【事業例】

- アカデミア文京、地域アカデミーの整備
- 区有施設の活用促進
- 大学や事業者等の施設開放の要請

## (3) だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり

- ・ さまざまな状況にある区民一人ひとりの学習や活動を応援するため、時間や場所など、学習や活動を行うにあたっての制約を除くための配慮と支援を行います。
- ・ インターネットを介した学習環境や情報提供、施設予約システムの活用を進めていきます。
- ・ 情報通信技術（ICT）を活用した仕組みづくりを検討していきます。

## 【事業例】

- インターネットを活用した文京アカデミア講座等の配信
- 講座・講演会等での保育サービスの推進

## (4) さまざまな学習活動を支援する区立図書館づくり

- ・ すべての区民が公平に図書館を利用し学習できるよう支援していきます。（ユニバーサルサービス\*<sup>3</sup>）
- ・ 幅広い世代や対象者に役立つ資料などの収集、レファレンスサービス\*<sup>4</sup>などさらなる充実により、区民の学習を支援していきます。
- ・ ビジネスや子育て、医療など、仕事や生活に役立つ資料や情報を積極的に収集、提供していきます。
- ・ 発達段階に応じた子どもへの読書活動を支援していきます。

## 【事業例】

- ユニバーサルサービスの充実
- 多様なテーマへの支援

\*<sup>2</sup>文京アカデミア講座：区内の大学や区民、区内企業と連携した特色のある講座。講座内容は、地域、文学、芸術、語学などがある。

\*<sup>3</sup>ユニバーサルサービス：高齢であることや障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように提供されるサービス。

\*<sup>4</sup>レファレンスサービス：図書館で資料・情報を求める利用者に対して提供される、文献の紹介・提供などの援助をいう。

## 2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実

### (1) 学習情報の収集・整理

- ・ 区民一人ひとりの学習や活動意欲を満たすことができるようにするため、区をはじめ、大学、指定管理者など、生涯学習に関する多様な機関の情報を収集し、一元管理を進めていきます。
- ・ 地域における区民発の情報を広く収集して学習や活動に活用していきます。

#### 【事業例】

- 生涯学習関連情報の収集・整理

### (2) 分かりやすい情報提供

- ・ 区民が手軽に、欲しい情報を入手できるようにするため、収集した情報を一元化し、多様な情報をひとつの場所で得られるよう工夫します。
- ・ 総合情報コーナーの設置や情報提供サイト（ホームページ）づくりなど、いつでもどこでも手軽に情報を得られるようにします。

#### 【事業例】

- 生涯学習に関する総合情報コーナーの設置
- 生涯学習情報提供サイトの構築

### (3) 相談体制の整備・充実

- ・ 学習や活動を豊かにするため、区民が気軽に相談できる機会と場を充実させます。
- ・ 区民プロデュース講座企画者に対する相談にも応じていくことで、区民主体の生涯学習活動の充実を推進していきます。

#### 【事業例】

- 生涯学習相談体制の整備

### (4) 地域における情報拠点となる区立図書館づくり

- ・ 情報通信技術（ICT）の積極的な活用を推進し、情報提供サイト（ホームページ）などの広報媒体を有効に活用し、社会情勢等を見据えたタイムリーな情報を発信していきます。
- ・ 地域特性を活かした資料の収集・提供を行うとともに、地域と連携した事業を展開していきます。
- ・ 図書館職員・スタッフの能力などを向上させ、専門性の高い職員等を育成し活用していく研修等の充実を図っていきます。

#### 【事業例】

- 図書館におけるデジタルコンテンツ<sup>\*5</sup>の拡充
- 図書館資料へのICタグ<sup>\*6</sup>整備
- 地域と連携した行事の開催

## 3 区民・団体の主体的な活動の支援

### (1) 主体的な活動を支える仕組みづくり

- ・ 団体間の連絡会を設けるなど、団体同士が情報交換できるネットワークの形成、連携を進めます。
- ・ 社会教育関係団体<sup>\*7</sup>の要件を満たす団体の登録・活動支援を行っています。
- ・ 生涯学習活動団体の情報交換のため、区報や情報提供サイト（ホームページ）など、さまざまな媒体を用いて活動の様子や成果等を紹介していきます。

#### 【事業例】

- 生涯学習活動の紹介
- 生涯学習団体等の主体的なネットワーク支援

<sup>\*5</sup>デジタルコンテンツ：インターネットやケーブルテレビなどの情報サービスにおいて、提供される文書・音声・映像などの個々の情報。

<sup>\*6</sup>ICタグ：小さな無線ICチップ。商品に貼付し、電波の送受信で、識別・管理などに利用される。

<sup>\*7</sup>社会教育関係団体：文京区では、社会教育法第10条に規定されている団体を「文京区社会教育関係団体登録要綱」に基づき、生涯学習の振興と社会教育関係の団体の育成を図ることを目的として登録している。



## (2) 活動成果披露の場の充実

- ・ 区民の生涯学習活動を豊かにするため、学習や活動の成果を披露する場と機会を充実させます。
- ・ 趣味や学習の成果を地域に還元するために、区民の企画・運営する講座が開催できるようにしていきます。
- ・ 文の京生涯学習司\*<sup>8</sup>（以下、「生涯学習司」）や文の京地域文化インタープリター\*<sup>9</sup>（以下、地域文化インタープリター）などが、その知識や経験を地域に還元できる機会を設けていきます。

### 【事業例】

- 区民プロデュース講座の充実
- 生涯学習活動の披露の場の提供

## (3) 人材育成の推進

- ・ 生涯学習司や地域文化インタープリターなどの独自の資格制度によって人材を育成していくとともに、こうした人材が連携を深めるための場を設けていきます。また、指定管理者と協働して講座の運営を行っている文京アカデミアサポーター\*<sup>10</sup>の育成にも努めていきます。
- ・ 地域における生涯学習活動を活性化するために、地域で活動する人材を育成していきます。
- ・ 生涯学習活動団体内の人材育成として、運営者を対象とした団体運営のための研修等の開催を支援します。

### 【事業例】

- 生涯学習支援者の育成
- 生涯学習活動団体マネジメント講座の開催

## (4) 人材活用の推進

- ・ 生涯学習活動を活性化させるため、専門知識・技能を備えた地域内の指導者等を登録・活用し、その知識や経験を地域の中で活かしていく機会を設けます。
- ・ 生涯学習司や地域文化インタープリターなどの活躍の場を充実させます。また、こうした有資格者や文京アカデミアサポーターなどのボランティアの人材情報をデータベース化し、学習成果を地域に還元できる仕組みを整えていきます。
- ・ 区立図書館が、ライブラリーパートナー（図書館ボランティア）と連携を図るとともに、ボランティア相互の交流を支援し、読み聞かせ等の読書活動の充実を図ります。

### 【事業例】

- 生涯学習支援者の活用
- 生涯学習人材バンク再構築の検討

\*<sup>8</sup>文の京生涯学習司：生涯学習に関する一定の知識とスキルを習得し、生涯学習事業を企画・調整できる地域のリーダーとして文京区が認定した人。

\*<sup>9</sup>文の京地域文化インタープリター：地域文化の価値を理解するために必要な知識や技術を習得した文京区の文化資源の案内役として文京区が認定した人。

\*<sup>10</sup>文京アカデミアサポーター：講座の運営を支援するために、基礎知識を習得し、生涯学習等に貢献する人。

## 1 スポーツのきっかけづくり

### (1) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

- ・ スポーツに関する情報の収集・発信を充実していくとともに、情報発信手段のさらなる工夫、広報手法の充実、年代やライフスタイル等さまざまなニーズを踏まえた効果的な情報提供を行っていきます。
- ・ スポーツ機会や施設等の情報について一元的な管理を行い、スポーツに関するさまざまな相談に応える体制を整備していきます。

#### 【事業例】

- スポーツ情報の収集・発信
- スポーツ総合情報・相談体制の整備

### (2) スポーツへ参加する機会の提供

- ・ 多くの区民が年代やライフスタイルに応じて、気軽にスポーツに親しめる機会の充実を図っていきます。

#### 【事業例】

- スポーツ体験教室の開催
- 健康ウォーキングイベントの開催

## 2 スポーツを楽しむ環境づくり

### (1) スポーツ施設の整備・充実

- ・ スポーツ機会を拡大するため、スポーツ施設の整備・充実を図っていきます。
- ・ 「スポーツ交流ひろば」等の事業運営に当っては、地域住民等による自主運営化を積極的に推進し、区民との協働によるスポーツ事業を展開していきます。

#### 【事業例】

- (仮称)新総合体育館の建設
- 旧第五中学校体育館のリニューアルオープン
- スポーツ施設の整備と活用促進
- 健康・体力づくりのためのスポーツ環境の整備

### (2) 既存施設等の利活用

- ・ 区立小・中学校施設の活用を図るとともに、区内の大学等との連携を通じて、区内の既存スポーツ施設を活用し、さらにスポーツを楽しむ環境づくりを進めていきます。
- ・ 区内で気軽にウォーキング等の健康づくりや体力づくりのためのスポーツができる環境整備を推進してきます。

#### 【事業例】

- 区立小・中学校施設等の活用

### (3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供

- ・ スポーツをしていない区民が参加しやすいプログラムづくりや、年齢や体力、障害等に応じた多様で柔軟なプログラムづくりを行い、区民がスポーツを楽しむことができる環境づくりを目指していきます。
- ・ 学校体育と各種スポーツ団体等との連携・協力体制を構築し、子どもたちの発達段階に応じた指導力を有する人材の発掘や活用を図るとともに、ジュニアスポーツ選手の育成にも力を入れていきます。
- ・ 子どもから高齢者までに対応した各種スポーツ大会や教室等のプログラムを充実させていきます。

#### 【事業例】

- さまざまな世代等のニーズに対応したスポーツプログラムの提供
- ジュニア育成の充実

#### (4) スポーツを通じた地域交流の活性化

- ・ スポーツ大会やイベント等のさまざまなスポーツ活動を通じて、地域住民の連携や交流の活性化を図っていきます。
- ・ 地域・生涯スポーツの普及・発展のため、自主的な活動を行うスポーツ団体の育成を図っていきます。

##### 【事業例】

- スポーツ団体等の支援・交流
- 「スポーツ祭東京 2013(東京国体)」の開催に向けた取り組みの推進

### 3 スポーツ観戦の魅力向上

#### (1) プロスポーツ等団体との連携・協力

- ・ 区内に拠点を持つプロスポーツ等団体との連携・協力体制を構築し、区民がより一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を多く提供し、スポーツに関心が持てるようにしていきます。
- ・ 区内に拠点を持つプロスポーツ等団体との連携・協力により、プロスポーツ選手とのふれあいの場を設けて、身近に接することで応援したくなるような環境をつくっていきます。

##### 【事業例】

- スポーツ観戦応援事業
- スポーツ団体等協働事業

#### (2) スポーツ観戦機会の拡充

- ・ プロスポーツ等団体のみならず、教育関係機関等との連携・協力体制を整備し、学校や地域のクラブチームなど、身近なスポーツ団体等の試合観戦を通じて地元チームや地元アスリートを応援できるような仕組みづくりや事業展開を図っていきます。
- ・ 学校や地域のクラブチームの試合等の情報を収集し、広く区民に情報提供していく仕組みをつくっていきます。

##### 【事業例】

- 地元スポーツ応援の仕組みづくり
- スポーツ地元応援情報の発信

### 4 スポーツ指導者の育成

#### (1) スポーツ指導者等の育成と確保

- ・ 小・中学生を対象としたスポーツ教室に区内大学生を指導者として受け入れるなど、レベルの高い指導者になるきっかけをつくとともに、研修の充実やスポーツ指導者間の交流の機会を設け、若手スポーツ指導者の育成を図っていきます。また、スポーツ経験者等地域の人材を発掘するなど、質の高い指導者を確保し、多種目の多様なニーズに対応していきます。
- ・ 若い人たちが多く参加する種目の活動の場をつくるなど、若い人たちが魅力を感じ、参加しやすくするための工夫をしていきます。
- ・ 大学などのスポーツ指導者養成機関との連携を図り、高齢者や障害者等を対象としたスポーツ指導者や介助者を育成していきます。

##### 【事業例】

- 新たなスポーツ指導者の育成・発掘
- 多様なニーズに応えるスポーツ指導者の育成

#### (2) スポーツ指導者の技術等の強化

- ・ プロスポーツ等団体との連携・協力体制により、レベルの高い指導者育成のためのプログラムを構築していきます。
- ・ 関係スポーツ団体等との緊密な連携・協力体制を構築し、より一層レベルの高い指導者等を数多く確保するとともに、研修等の機会を増やし、指導力や指導等の強化を図っていきます。

##### 【事業例】

- プロスポーツ指導者等の活用
- 区内大学等スポーツの人的資源の活用

## 1 だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実

## (1) 鑑賞の機会と場所の提供・充実

- ・ 区民の文化芸術鑑賞の充実を図るため、音楽や美術、書道など、文化芸術に親しむことのできる機会を提供していきます。その際には、ホールや展示会場を用いた鑑賞の機会のほか、公共空間を活用した鑑賞の機会も提供していきます。
- ・ 子どもの頃から文化芸術に親しむことのできる環境づくりのため、親子が一緒にさまざまな文化芸術にふれる機会を設けていきます。

## 【事業例】

- 文化・芸術鑑賞事業の実施

## (2) 参加・創造・成果披露の機会と場所の提供・充実

- ・ 区民参加の機会や区民の創造活動を支援するため、文化祭や展示会などの機会を充実し、提供していきます。そして、文京区らしさを活かした、文化芸術の創造と発信を進めていきます。
- ・ 文化芸術活動の活性化や区民の意欲向上のため、成果披露の場を充実していきます。
- ・ 区内に多くある大学との連携・協働を有効に進めていくため、各大学の専門分野や得意分野を活かしたイベントや講座を実施していきます。また、大学の施設開放要請も行っていきます。
- ・ 事業者のメセナ活動<sup>\*11</sup>や保有施設の開放の要請などを通じて事業者との連携・協働を図るとともに、社員の参加も促していきます。

## 【事業例】

- 文の京文化発信プロジェクトの推進

## (3) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実

- ・ 区民が地域の文化や伝統を知ること、さらに区の文化芸術活動が盛んになるよう、区内に豊富にある歴史的資源を活用した史跡めぐりや歴史・伝統に関する講座などの機会の提供・充実を進めていきます。
- ・ 「文京ふるさと歴史館」のあり方については、「(仮称) 森鷗外記念館」の開館（平成 24 年）に合わせて役割分担等の検討を進める中で、運営等の連携・調整を図っていきます。
- ・ 区民がより深く地域の歴史や文化にふれられるようにするため、「文の京ミュージアム ネットワーク<sup>\*12</sup>」加盟施設との連携をより一層図り、これらの施設めぐりと座学を組み合わせたイベントなどを開催していきます。
- ・ 多岐にわたる文化芸術活動を進めていくため、人材や会場などの各種資源の活用においては、他自治体との連携・協働も強化していきます。

## 【事業例】

- (仮称) 森鷗外記念館の新設
- 文の京ミュージアム ネットワークの活用

\*11メセナ活動：文化・芸術活動に対する企業の支援活動。

\*12文の京ミュージアム ネットワーク：区内の歴史・文化遺産に身近にふれる機会と場を、より多くの方々に提供するとともに、文化の発信と文化創造を推進するため、区内の美術館、博物館、庭園等により結成されたネットワーク。

#### (4) だれもが鑑賞・参加しやすい仕組みづくり

- ・ 区民一人ひとりの文化芸術活動への多様なニーズを実現するため、時間や場所などについての配慮を行います。
- ・ 障害者が、イベントや文化芸術に関する講座に参加できるよう、手話通訳やヘルパーなどの配置を主催者に促していきます。
- ・ さまざまな人が本区の文化や歴史にふれられるよう、区内の歴史的・文化的な資源を紹介するパンフレットや看板の外国語表記を進めていきます。

##### 【事業例】

- 講座・講演会等での保育サービスの推進
- 文京シビックホール等公演解説講座の開催

## 2 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実

### (1) 文化芸術関連の情報収集・整理

- ・ 区民の文化芸術活動に役立つさまざまな情報を収集するため、関係各部署や指定管理者、大学など関係する機関が行っているイベントや文化芸術に関する講座、鑑賞会など、文化芸術関連の情報を幅広く収集します。
- ・ 収集した情報は一元管理し、利用しやすいように整理します。
- ・ 文化芸術活動を活発なものとしていくため、区内にあるさまざまな歴史的・文化的資産に関する情報や、地域の人材などの情報収集において区民との連携・協働を進め、区民からの情報提供を募る仕組みをつくっていきます。

##### 【事業例】

- 文化芸術関連情報の収集

### (2) 分かりやすい情報提供と幅広い情報発信

- ・ 分かりやすく情報を提供するため、区報や指定管理者の機関紙、情報提供サイト（ホームページ）等で収集した情報を一元化し、欲しい情報が容易に入手できるよう検討していきます。また、新しい情報媒体についても積極的に活用していきます。
- ・ 文化芸術に関する情報を総合的に発信する情報提供サイト（ホームページ）の構築を検討していきます。その中では、区や参加者、活動者とが相互に情報をやりとりできる場を設けるよう検討していきます。

##### 【事業例】

- 文化芸術情報提供サイト構築の検討

### (3) 相談体制の整備・充実

- ・ 文化芸術活動に関連する区民のさまざまな疑問や悩みに相談対応できるよう、窓口での面接のほか、電話やメールなどでのさまざまな取り組みを指定管理者によって進めていきます。
- ・ 人々が集まるイベントの際に利用できるような臨時の相談体制を充実させていきます。

##### 【事業例】

- 文化芸術相談体制の整備

### 3 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり

#### (1) “楽しむ人”づくりの推進

- ・文化芸術活動を楽しむ区民の裾野を広げ、文京区の「文化力」を向上させるため、初心者を対象に入門教室を用意し、文化芸術活動を楽しむ人づくりを推進していきます。
- ・普段から文化芸術作品にふれ、生活の中で文化芸術を身近に感じることができるよう、区の施設に限らず区以外の関連施設も活用した作品展示を進めていきます。
- ・区民が文化芸術の分野へ興味を持つ機会を増やすため、文京区在住又は文京区にゆかりのある芸術家の活動を紹介していきます。

##### 【事業例】

- 初心者講座の充実
- 芸術家の活動紹介の実施

#### (2) “活動する人・団体”への支援

- ・社会教育関係団体等が、相互に連携を図り、必要に応じて協力し合い、活動を活発化する取り組みや内容等の情報交換などを目的とする連絡会の設立を促し、活動を支援していきます。
- ・主体的な活動を支援していくため、要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、活動場所の先行予約等のサポートをしていきます。
- ・活動の支援を促進するため、希望する社会教育関係団体に対して、文化芸術団体から講師等の派遣を検討していきます。

##### 【事業例】

- 社会教育関係団体等の主体的なネットワーク支援

#### (3) “伝える人”の育成と発掘の推進

- ・文化や伝統を教え、継承していく人を育てていくため、人材育成講座を実施していきます。
- ・伝統工芸を伝える人の育成を図っていくため、地域の人材を「文京区技能名匠者」として認定し、活用していきます。

##### 【事業例】

- 地域文化インタープリター等の活用

#### (4) 人材活用の推進

- ・人材の有効活用を進めるため、文化芸術人材バンクを構築し、地域や社会教育団体等からの希望に応じて情報を提供する体制の構築を検討していきます。
- ・文化芸術に関する区民プロデュース講座などの発表の場を提供することを通じて、学習の成果を地域や区民に還元していきます。

##### 【事業例】

- 区民プロデュース講座の推進

#### (5) 文化的な資源の発掘と保存の推進

- ・区内のまちなみや風景、地域の祭りなどを映像資料として残していくため、家庭内にある映像資料を収集し、アーカイブ\*<sup>13</sup>化していきます。
- ・区内にある文化的な資源の保存を進めるため、収集や整理等の環境整備を進めます。

##### 【事業例】

- 文の京映像資料等アーカイブの構築

\*<sup>13</sup>アーカイブ：《archives》公文書。古文書。公文書保管所。文京区では、区民が個々に保管している映像資料を、デジタル化することで収集・保存し、必要とする人（団体）が活用しやすい状態を作ろうとしている。

## II 各論

## 第4章 観光

## 1 まちあるきを中心とした資源の発掘・活用・創出

## (1) 文の京の誇りとなるまちなかの魅力発掘と磨き上げ

- ・ 来訪者を迎え入れるにあたり、区民が文の京の魅力に気付くことが重要です。区民自らが地域の魅力を発見・発掘できる取り組みや、その魅力を高める施策を推進します。

## 【事業例】

- 観光スポットの公募
- 「地域磨き」の推進

## (2) 文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり

- ・ 区民や来訪者が、本区の資源を楽しむためには、歴史や文化など多種多様な資源の魅力をわかりやすく伝えることが重要です。本区の魅力テーマ別に選び出し、ストーリー性あるコースづくりを進めます。

## 【事業例】

- 観光資源を活かしたツアーづくり
- 隣接区等と連携した広域ツアーづくり

## (3) 「学び」の要素と連携した文の京ならではの新しい魅力づくり

- ・ 教育機関が多く立地するという本区の特性を活かした「文の京」らしい魅力創出へ向けて、「学び」のネットワークの強化とそれを活かした取り組みの活性化を進めます。

## 【事業例】

- 観光入門・体験等講座の開催

## (4) まちあるきを誘発する「文京ブランド」の構築

- ・ 飲食店や文京区伝統工芸会などと連携して、「食べる」「買う」「体験する」に関するブランド力を高めるとともに、商店街の人との交流など、まちあるきの新たな魅力を創出します。

## 【事業例】

- 「文京ブランド」の開発促進

## 2 まちあるきや交流のための環境づくり

## (1) 安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進

- ・ 高齢者や障害者、外国人など、誰もが安全・安心に、かつ快適に区内を巡ることができるよう施設や案内標識の整備を進めるとともに、災害など緊急事態に際しての情報提供の仕組みを検討します。
- ・ 人に地球にやさしい環境を意識したまちあるきなどを進めるとともに、文の京らしい景観も意識した取り組みを進めます。

## 【事業例】

- 「文の京でひと休み」事業の推進
- 文の京のイメージを保つ景観の整備

## (2) 区内の回遊性を向上させる誘導の仕組みづくり

- ・ 快適に区内に点在する資源を巡ることができるよう、レンタサイクルの活用を進めるとともに、わかりやすい案内標識の整備などにより回遊性を高める取り組みを推進します。

## 【事業例】

- コミュニティバス「Bーぐる<sup>ビークル</sup>\*14」やレンタサイクルの活用促進
- わかりやすい案内標識等の整備

\*14 Bーぐる：文京区コミュニティバスの愛称。「Bーぐる」のBは、文京（Bunkyo）のBを表し、文京区をぐるっとめぐるコミュニティバスの意味。

### (3) 区民や来訪者の交流充実に向けた環境づくり

- ・ 本区の魅力をより深く感じてもらうため、区民相互の交流や観光振興等に取り組む区民と来訪者の交流などの充実に向けた環境づくりを推進します。

#### 【事業例】

- 歴史や文化、季節の花などを通じたイベントの開催
- ものづくり体験観光の推進

### (4) 文の京の魅力を活かすイベントの推進

- ・ 区民や来訪者が、本区の資源にふれるきっかけのひとつとして、まちあるきイベントに参加できる機会を増やすとともに、本区独自の歴史や文化などの資源を活かした新たなイベント作りに取り組みます。

#### 【事業例】

- 観光ウィーク事業  
(未公開スポットの公開等)

### (5) MICE\*<sup>15</sup>の誘致（アフターコンベンションの充実と誘致）

- ・ 区内でのイベントや会議などの開催を増やすため、区内の大学や観光施設等と協力するとともに、本区での開催のメリットを整理し、PRなどによりMICEの誘致を進めます。
- ・ 区内や近隣区で開催される会議等への参加者や同伴者等が、区内観光や食事、買い物で楽しめるよう情報提供の充実を目指します。

#### 【事業例】

- MICEに関する情報発信と誘致活動の推進
- アフターコンベンション向けのメニューづくり

### (6) 区民生活に配慮したまちあるきの仕組みづくり

- ・ まちあるきなどを企画・運営する際は、落ち着いた区民の暮らしが保たれるように配慮するなど、持続可能な観光のあり方を検討します。

#### 【事業例】

- まちあるきマナー向上キャンペーンの展開

## 3 観光まちづくりのための情報発信

### (1) 「文京区」の知名度向上へ向けた情報発信の強化

- ・ 本区の知名度向上へ向けて、区内の魅力に関する情報を幅広い視点から集約・整理し、積極的に発信するとともに、情報の新鮮さを保ちます。

#### 【事業例】

- 観光情報データの整理と発信
- 区民特派員や観光モニターを通じた情報収集・発信の推進

### (2) ターゲットを明確にした効果的な情報発信の推進

- ・ まちあるきを目的とした人、外国人観光客、通勤・通学者など多岐にわたる本区への来訪者に対応するため、それぞれの目的やニーズに合った情報を発信していきます。

#### 【事業例】

- 愛好家向け観光情報の発信強化
- 外国人向け情報発信の充実

\*<sup>15</sup>MICE：会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive（Travel））、国際会議（Convention）、イベント、展示会・見本市（Event・Exhibition）のこと。会議等の開催により、来訪者の増大や各種分野への経済効果などが期待される。



### (3) メディアの有効活用による「文京区」の積極的なPR

- ・ 本区の旬な情報を効果的に発信していくため、区や事業者、地域団体などがそれぞれの目的や立場に応じて、飲食店や観光施設などから最新の情報を収集するとともに、メディアに対して積極的に情報提供するなど、「文京区」のPRを進めます。

#### 【事業例】

- フィルムコミッション\*<sup>16</sup>の設立・運営

### (4) 情報通信技術を活用した情報発信の推進

- ・ 来訪者の多様なニーズに応じた情報を効率的・効果的に発信できるよう、携帯端末の活用など新たな情報通信技術の活用を検討します。

#### 【事業例】

- 手のひらサイズツール向け情報提供

## 4 観光まちづくりのための人材育成と体制づくり

### (1) 文の京の魅力を伝える人材等の育成

- ・ 来訪者が本区の魅力を十分に堪能できるよう観光ガイドの育成を進めるとともに、区民自らが区の魅力を楽しみ、その魅力を発信できるよう、教育機関等と連携しながら生涯学習の講座を推進します。

#### 【事業例】

- 観光まちづくり人材コーディネート事業

### (2) 観光まちづくりに携わる団体・人材の発掘と活用

- ・ 地域で活躍する団体・人材の掘り起こしを図るとともに、区民、商店街、教育機関など、さまざまな主体が観光による地域振興に積極的に携わる機会づくりを進めます。

#### 【事業例】

- 「観光サポーター店」の認定

### (3) 文の京全体としてのホスピタリティ\*<sup>17</sup>の醸成

- ・ おもてなしの心に溢れるまちを目指し、区民や事業者などさまざまな主体の意識の向上を図るとともに、次代を担う人材の育成を進めます。

#### 【事業例】

- おもてなし向上講座の開催
- 店舗や観光施設での多言語表記の推進

### (4) さまざまな主体が連携して取り組む体制づくり

- ・ 観光イベントやまちあるきなどの企画・運営において、組織や地域の枠を超えたネットワークづくりを進め、協力・連携して事業に取り組みます。

#### 【事業例】

- 観光による地域活性化事業推進のネットワークづくり
- 隣接区とのパートナーシップの強化

\*<sup>16</sup>フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関。

\*<sup>17</sup>ホスピタリティ：心のこもったおもてなし。手厚いおもてなし。

## 1 国際理解を進める機会づくり

### (1) 国際理解の推進

- ・ 留学生等の外国人や、海外経験の豊富な区民等が、区民に国際理解推進のための機会を提供し、外国人を受け入れる意識の醸成を図ります。
- ・ 区民が海外経験を伝える機会を行政がコーディネートするなど、区内の人材が活躍できるような国際理解の場づくりを推進します。

#### 【事業例】

- 区民と外国人の情報交換の場の創出
- 小・中学生に対する国際理解推進事業

### (2) 多様な文化を学べる機会の充実

- ・ 区内の大学の外国人研究者等を講師に招くなど、質の高い講座等の実施をさらに推進します。
- ・ 日本の歴史や文化、先端技術等に関心を持つ外国人に対し、区民等が主体となり、本区のさまざまな魅力を伝えていくことを目指します。

#### 【事業例】

- 国際理解を推進する講座の企画・開催
- 区内産業と連携した交流・ネットワークづくり

## 2 国際交流を進める機会づくり

### (1) 交流の機会の拡充

- ・ 国際交流に関する情報を収集し、区民に広く発信する方法を検討します。
- ・ 国際交流団体や区民等の連携を推進するとともに、情報や人材の交流を促進し、交流機会の充実を図ります。
- ・ 国際交流団体や区民等が、主体的に国際交流事業を継続できるよう、行政等が支援する仕組みを検討します。

#### 【事業例】

- 国際交流団体への支援
- 国際交流イベントの企画・開催

### (2) 交流を支える人材の育成及び支援

- ・ 区の歴史や文化を外国人に伝える人材として、各種の講座を受けた区民が主体的に活動できる仕組みを検討します。さらに、国際交流を担う次代の人材として、小・中・高校生を育成する方法を検討します。
- ・ 留学生や研究者などの外国人が、国際交流を担う人材として活躍できる仕組みを検討します。

#### 【事業例】

- (仮称)国際交流サポーターの育成と支援
- 外国人の人材活用

### (3) 交流拠点の充実

- ・ 区民も外国人も気軽に集い、国際交流を進められるスペースについて、既存施設の有効活用などの視点から検討を進めます。
- ・ 国際交流事業の実施にあたり、事業者の施設を利用させてもらうなど、事業者との協働を推進します。

#### 【事業例】

- 交流拠点の充実

#### (4) 姉妹都市等、海外都市との交流の活性化

- ・ カイザースラウテルン市や他の海外都市との交流について、交流の活性化を図る方法や、多くの区民に知ってもらうための情報発信の手法を検討します。
- ・ 区民にとって関心の高い分野で先進的な取り組みをしている都市との交流について、検討を行います。

##### 【事業例】

- 姉妹都市との市民交流活動の推進
- 新たな海外都市との交流

### 3 外国人が快適に暮らせる環境づくり

#### (1) 外国人の暮らしの支援

- ・ 生活情報や観光情報、標識・看板の表示、飲食店等店舗でのメニューなど、情報の多言語化を推進します。
- ・ 病気や災害時に外国人の支援を行う区民の育成・支援など、外国人が安心して生活するための仕組みを検討します。
- ・ 外国籍児童・生徒のほか、家族への日本語習得支援について検討します。

##### 【事業例】

- 多言語による情報提供
- 日本語習得の支援

#### (2) 地域活動への参加促進

- ・ 地域活動に関する情報について、多言語による発信を推進します。
- ・ 町会・自治会などの地域行事について、外国人が参加しやすい仕組みを検討します。
- ・ 外国人の地域活動への参加を支援する区民の育成・支援を図ります。

##### 【事業例】

- 地域活動センターの活用
- 外国人の地域活動参加の推進

II 各論

第6章 分野横断型プロジェクト

プロジェクト 例1

森鷗外に親しむ ―生誕 150 周年記念事業―

数多くの作品を文京区で執筆した森鷗外が、平成 24 年に生誕 150 周年を迎えることを受け、鷗外に親しむことのできる記念事業を実施する。ここでは、鷗外の人物と文学を深く知ることができるよう、その当時の生活の様子や文京区の姿などを広く発信し、魅力を紹介していく。

事業例	分野	事業名(例)
	生涯学習	森鷗外の作品を読む会の開催、森鷗外を知る会の開催 等
	文化芸術	「(仮称)森鷗外記念館」の新設、森鷗外ゆかりの文人などとの多様なテーマの企画展示の開催 等
	観光	森鷗外作品に出てくる区内の場所をめぐるツアー実施 等

プロジェクト 例2

文京地域学 <sup>ふみ みやこ</sup> ―文の京とそこに生きる人々の暮らし・文化・伝統を知る―

文京区への愛着と誇りを高め、区の歴史や文化を大切にすること意識と姿勢を醸成することを目的に、文京区でどのような人々がどのように生活してきたかなど、文京区を多面的に学べる分野横断型講座やフィールドワークなどを「文京地域学」として企画・実施する。

事業例	分野	事業名(例)
	生涯学習	文京区の地勢や歴史を知る講座の実施、文京区民の生活史を知る講座の実施 等
	スポーツ	文京区ゆかりの人や史跡をめぐるヘルスアップウォーキング 等
	文化芸術	文京区ゆかりの人が残した資料や史跡を見て・ふれて・学ぶ 等
	観光	文京区の伝統工芸体験ツアー 等
	国際交流	外国人から見た文京区などをテーマとした懇談会 等

プロジェクト 例3

アカデミーフェスティバル <sup>ふみ みやこ</sup> ―文の京を楽しむ―

区民や来訪者への学習機会の創出や学習活動の充実を図ることにより、新たな交流が生まれるきっかけづくりを目的にアカデミー推進期間を設定する。その期間中に文化・生涯学習施設やスポーツ施設など区内全域で各種イベントや成果・活動状況の発表、講演会等を集中的に実施する。

事業例	分野	事業名(例)
	生涯学習	生涯学習団体による講座の実施、生涯学習相談 等
	スポーツ	スポーツ団体等協働事業の開催、健康教室の開催 等
	文化芸術	文化芸術連盟・サークルによる発表会や展示会、体験教室 等
	観光	まちあるきイベントの実施、食や伝統工芸などのコンテスト開催 等
	国際交流	国際交流団体によるイベント開催、サークル紹介 等

文京区アカデミー推進計画  
＜概要版＞

平成 23 年（2011 年）3 月発行

発行 文京区  
編集 アカデミー推進部 アカデミー推進課  
〒112-8555 文京区春日一丁目 16 番 21 号  
電話 (03) 5803-1307 (直通)

印刷物番号 J0110024